

# 第1回 宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会 開催

## 【宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会設立趣意】

平成16年9月28日～29日、台風21号に秋雨前線が重なったことから三重県中南部では、1時間に100mmを越える雨が降り、宮川の上流部に位置する宮川雨量観測所では、時間雨量119mmの豪雨を記録し、基準観測所である岩出水位観測所では、計画高水位を超えるなど昭和50年の観測開始以降最大の出水となった。

このため宮川本川右岸の中流部に位置する伊勢市中島・大倉地区において、越水・氾濫による37.1ha、159戸の浸水被害が発生し、県管理区間である横輪川においても堤防の破堤・氾濫による60.0ha、73戸の被害が発生した。

伊勢市中島・大倉地区では、平成6年に浸水被害を受けており、今回の被災に伴って実施する床上浸水対策特別緊急事業により、被災地域の浸水被害の解消及び地域の安全・安心の確保を図る必要があり、平成18年度から再度災害防止のための「宮川床上浸水対策特別緊急事業」を実施している。

本委員会は、三重河川国道事務所の実施する「宮川床上浸水対策特別緊急事業」(以下「床上事業」という)における事業費、工程、品質等の事業監理について、意見、助言をいただき、もって床上事業の適正な執行に資することを目的に設立するものである。

### 1. 委員の構成 別紙①のとおり

2. 委員の任期 自 平成20年9月16日(委嘱日)  
至 床上事業の完成年の年末

3. 委員会の開催回数 本会議 : 原則として毎年1回  
事業実施箇所現地視察 : 原則として毎年1回

### 4. 第1回の委員会及び事業実施箇所現地視察(委員会報告 別紙②のとおり)

«委員会実施状況»



«事業実施箇所現地視察状況»



### 5. スケジュール 別紙③のとおり

## 宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会 名簿

氏名	所属	専門分野	備考
久世 憲志 くぜ のりゆき	三重県県土整備部 河川砂防室長	行政	
松尾 直規 まつお なおき	中部大学 工学部 都市建設工学科教授	河川	宮川における環境整備検討委員会 委員長 三重河川流域委員会 委員長
丸山 宏 まるやま ひろし	名城大学 農学部 生物環境科学科教授	環境	宮川における環境整備検討委員会 委員
森下 隆生 もりした たかお	伊勢市長	行政	
渡辺 恰爾 わたなべ ていじ	三重大学 特命学長補佐	経済	三重河川流域委員会 副委員長

※50音順 敬称略

事務局：中部地方整備局 三重河川国道事務所

## 第1回 宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会 報告

平成20年 9月16日	13:00 ~ 17:00	伊勢市役所 東庁舎 4-2会議室
出席者	松尾直規委員・渡邊悌爾委員・丸山宏委員 ・久世憲志委員(代理:小川洋策)・森下隆夫委員(代理:太田巧)	
<b>1. 議事</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床上事業概要説明について</li> <li>・ 平成19年度までの床上事業実施報告について</li> <li>・ 平成20年度以降の床上事業予定について</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>		提案事項の全てについては、了解及び確認された。
<b>2. いただいた助言・意見</b>		
<p>◇ 床上事業概要説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河道掘削など、計画時と実施時の整備量の差について整理すること。</li> <li>・ 整備が直線的であり、自然の景観を意識した整備の可能性について検討を行うこと。</li> </ul> <p>◇平成19年度までの床上事業実施報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 護岸形式の変更条件について整理すること。</li> <li>・ 事業工程管理の強化を中心に、懸案事項の早期解決や情報共有などを目的とした独自のプロジェクトマネージメント(計画・実施・評価・改善)を実施しているが、安全・環境等の一段階上の議論について検討すること。</li> </ul> <p>◇平成20年度以降の床上事業予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河道掘削(左岸工区)において発生する樹木については、活用・コスト縮減を考慮した処理方法の検討を行うこと。</li> <li>・ 事業完成までの出水対応を整理すること。</li> </ul> <p>◇今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度完成に向け、課題の再抽出を行うこと。</li> <li>・ コスト監理については、原材料費の高騰を加味した精度向上を行うこと。</li> </ul>		

## 宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会スケジュール

年・月	事 業	内 容
平成20年9月16日	第1回 事業監理委員会(設立)	平成19年度までの実施事業監理 平成20年度の予定事業確認
平成20年9月16日	第1回 事業実施箇所現地視察	平成19年度までの事業実施箇所視察
平成21年7月頃	第2回 事業監理委員会	平成20年度の実施事業監理(予定) 平成21年度の予定事業確認(予定)
平成21年7月頃	第2回 事業実施箇所現地視察	平成20年度の事業実施箇所視察及び 平成21年度の事業実施予定箇所視察(予定)
平成22年7月頃	第3回 事業監理委員会(最終)	平成21年度の実施事業監理(予定) 平成22年度の予定事業確認(予定)
平成22年7月頃	第3回 事業実施箇所現地視察	平成21年度の事業実施箇所及び 平成22年度の事業実施予定箇所視察(予定)